

ASV車両の修理には、

先進安全自動車

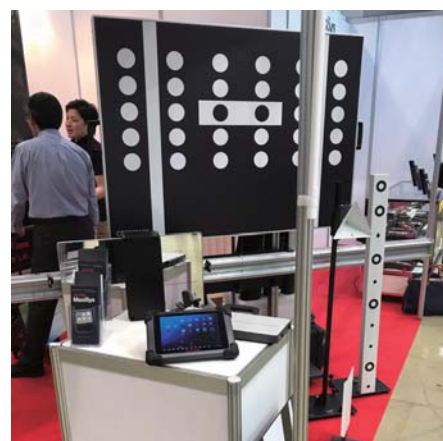
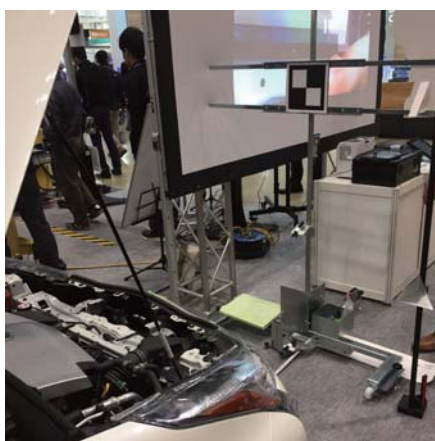
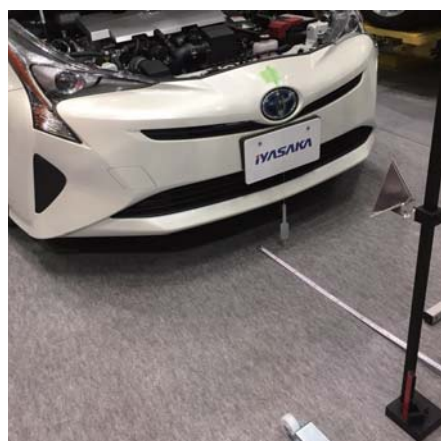


エーミング作業が必須時代に。



近年、自動車の安全、快適性の向上が求められていることから、ASV車両の普及が加速的に進み、先進安全技術の性能を維持し、車両や交通社会の安全性を担保する責任が求められてきます。エーミング作業に対応するスキャンツール(外部故障診断機)の導入のほか、各自動車メーカーごとのターゲットやミリ波レーダーのリフレクター、クリアランスソナー調整時にはデジタル角度計等が必要となります。

また、各自動車メーカーの定める作業スペース(※例えばトヨタの場合、水平な場所に車両を設置して車両前方に縦横3mのスペースを確保。)等の環境整備のほか、事故車両などはエーミング作業する前に、ボディアライメントやホイールアライメントを測定することも必要となってきます。今後、メーカーの情報開示と共に、車体整備の在り方も大きく変わろうとしています。 ※以下写真は、IAAE2018の様子です。



マメ知識

ASV(先進安全自動車)とは

Advanced Safety Vehicle(略称ASV)は、先進技術を利用してドライバーの安全運転を支援するシステムを搭載した自動車のこと。衝突被害軽減ブレーキやふらつき注意喚起装置、車線逸脱警報装置、車両横滑り時制動力・駆動力制御装置、ACC(定速走行・車間距離制御装置)、ペダル踏み間違い時加速制御装置などがある。

マメ知識

エーミング作業とは

左記に表示した先進安全技術に使用されるカメラやミリ波レーダー、超音波センサー、赤外線センサーといった検知デバイスが正しく作動するための校正作業のこと。フレーム修正を伴う車体修正や钣金塗装の後にはもとより、フロントガラスを交換した後、バンパーを脱着しただけでもエーミング作業が必要となる。

エーミング作業に必要とされる主要工具や環境など

各種自動車メーカー

ターゲット・リフレクター

ミリ波レーダのリフレクター等は、
各自動車メーカー指定のツールが必要



スキャンツール（外部診断機）



トヨタ・プリウス ZVW50



計測には巻尺や、曲尺、錘をつけたタコ糸、
マスキングテープや水平器が必要

水準機



エーミングを行うメーカーや車種、
システムによって作業環境の条件は異なる

整備書（各自動車メーカー）

クリアランスソナー調整時には
デジタル角度計が必要

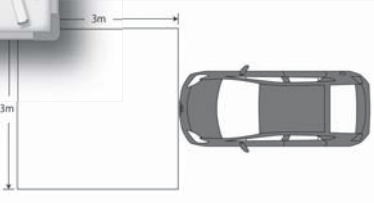
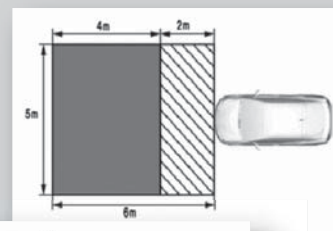
角度計



CHECK!!

エーミング作業前に、ボディア
ライメント・ホイールアライメン
トを正確に測定、調整することが
重要となります。

※タイヤ空気圧の調整も必要



水平床面で、周囲および路面に反射物や
光沢物のない室内が必要

整備環境